

みやかん



Mr. みやかん



竹駒神社

写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

主な記事

新年のご挨拶

令和6年宮管新年祝賀会を開催

水と空気の未来を創造する



INFORMATION



大切な水を人々の
暮らしへとつなぐ



 **前澤給装工業株式会社**

〒152-8510 東京都目黒区鷹番二丁目14番4号 Tel.(03)3716-1511(代表)
<https://www.qso.co.jp/>



▲各販売拠点は
こちらから

今月の表紙

竹駒神社（宮城県岩沼市）

842年に奥州鎮護の神として創建された神社で、日本三稲荷のひとつ。

表紙写真・説明
宮城県観光プロモーション推進室

目次

・新年のご挨拶	宮城県管工業協同組合 役員一同	P 1
	宮城県管工業協同組合理事長 井上 環	P 2
	宮城県知事 村井 嘉浩	P 3
	仙台市長 郡 和子	P 4
	仙台市水道事業管理者 佐藤 伸治	P 5
	宮城県中小企業団体中央会会長 佐藤勲三郎	P 6
	宮城県建設産業団体連合会会長 千葉 嘉春	P 7
・令和6年宮管新年祝賀会を開催		P 8
・仙台市水道事業管理者へ陳情		P 9
・令和5年度宮管地区連絡会ブロック会議を開催		P 10
・上下水道に関する4者間（仙台市水道局・同建設局・（公財）仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会を開催		P 12
・青下の杜プロジェクト「秋の間伐活動」に参加		P 13
・令和5年度給水装置工事配管技能検定会開催		P 14
・令和5年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催		P 15
・宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会を開催		P 16
・仙台市水道局主催の県内水道事業体職員を対象とした水道実務講習会に協力		P 17
・「みやぎ建設産業架け橋サロン」開催		P 18
・令和5年度宮管親善ボウリング大会を開催		P 19
・第51回仙台市技能功労者表彰を受賞		P 21
・「みやぎの建設技能グランプリ」表彰・「建設雇用改善優良事業所」表彰を受賞		P 22
・役員ノート	服部産業(株) 服部 達彦	P 23
・社会保険労務士からの目		P 24
・青年部コーナー		P 26
・我が社のおすすめ品！		P 28
・組合のうごき		P 30
・組合員のうごき		P 33
・理事（役員）会報告		P 34
・投稿	(有)勇扇工業 後藤 和弘	P 39
・編集歳時記	宮城県管工業協同組合 吉田 秀之	P 40

○裏表紙広告「前澤給装工業(株)」

「Mr.みやかんのこれ知ってる?」「国税だより」「健康だより」「仙台地名の由来」「諺・漢字コーナー」は、誌面の都合により休ませていただきます。

くらしの快適を創造する

宮城県管工業協同組合

〔官公需適格組合〕

理事長 井上 環

URL <https://www.miyakan.or.jp>

昭和22年4月18日設立 組合員101社・準組合員4社



〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町4丁目3番33号

〔総務部〕 電話 (022) 239-6711 FAX (022) 239-6601

〔資材部〕 電話 (022) 284-3011 FAX (022) 284-8497

〔工事部〕 電話 (022) 284-5728 FAX (022) 284-5735

〔修繕センター部〕 南エリア（仙台市水道局大野田庁舎内）

〒982-8585 仙台市太白区南大野田29-1

電話 (022) 304-3316 FAX (022) 304-3318

北エリア（同局国見庁舎内）

〒981-0942 仙台市青葉区貝ヶ森二丁目6-7

電話 (022) 277-2251 FAX (022) 277-2252

東エリア（同局卸町庁舎内）

〒984-0015 仙台市若林区卸町二丁目3-1

電話 (022) 237-5114 FAX (022) 237-5120

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

令和6年1月

宮城県管工業協同組合

理事長	井 菅	上 原	環 美
副理事長	小 吉	林 田	和 之
専任理事	小 赤	川 間	昭 郎
専任理事	松 小	岡 野	一 郎
	渡 郷	辺 古	一 司
	相 大	澤 浦	浩 雄
	服 堀	部 田	朋 明
	武 大	泉 木	彦 信
	鈴		晃 介
			一
監事			



新年のご挨拶



宮城県管工業協同組合
理事長 井上 環

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。

また常日頃より、当組合の事業運営に関しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行され、様々な行事等がコロナ前の状況に戻りつつありますが、物価高や人手不足、働き方改革による社会の変化など不安材料を抱えたまま新しい年の幕開けとなりました。

本来であれば、ここで今年の目標や抱負を述べるところではございますが、先日、家の片付けをしていましたら、思わぬ品物、T定規と顔を合わせる事となり、その時代背景や当時の業界の様子を思い出しましたので、ここで少し触れたいと思います。お分かりの方は私より少し年齢が上なのではないかと推察致しますが、現場に常駐していた私の必須の持ち物に、T定規と三角定規2枚がありました。当時は働くということに対する考え方が現在とは少し異なっていましたので、とにかく軍隊のように働きました。今思えば大変だったのかもしれませんが、なぜ「だったかも」と申しますと、単純に仕事が楽しかったのです。若い方々の離職率を下げ、入職率を上げるためには、働きやすい環境も必要ですが、仕事を楽しめるという要素も重要なのではないのでしょうか。昔と今の楽しさがイコールだとは思いませんが、笑顔で現場に出勤し、笑顔で帰宅する、このような環境づくりも必要なのではないかと思えます。

今迫っている諸課題を挙げればきりが無いほど山積しています。これらを一度に全て解決することは不可能かもしれませんが、一つひとつの取り組みが難題を解決する鍵になることは間違いありません。組合のブランドを高めることを前提として、組合員が組合を牽引する気持ちで取り組めば、道は拓けると確信しております。これからの時代を担う若者も、「命の水」を取り扱う意義を理解して頂けると思います。是非楽しい職場を目指し、“私たちが現状を変える”という気概を持って一緒に取り組んで参りましょう。情報化社会の中、まだまだ変化は続くと思えますが、組合員皆様のご理解とご協力を頂きながら、確実に前に進んで参りたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

結びに、組合員企業の益々のご発展と皆様方のご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

多様な主体との連携による活力ある宮城を目指して



宮城県知事

村 井 嘉 浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となり、様々なイベントや行事が再開されるなど、3年余りにわたるコロナ禍によって停滞していた県民生活や社会・経済活動が再び動き始めました。また、記録的な暑さの中で開催された全国高等学校野球選手権大会では仙台育英学園高等学校が2年連続決勝進出という快挙を成し遂げ、秋には台湾の大手半導体企業が新たに国内法人を設立し、県内に進出することが決定するなど、明るい話題もありました。

さて、社会情勢が目まぐるしく変化し、本格的な人口減少局面を迎える中、これまで経験したことのない環境の変化を前提とした社会づくりが求められています。こうした状況の中では、地域経済・社会の活力を維持しながら、持続的な発展を促進していくための政策・施策を、積極的に推し進めていくことが重要と考えております。

今年は、「新・宮城の将来ビジョン」による県政運営がスタートして4年目を迎えます。昨年に引き続き、市町村やNPO、企業など多様な主体と連携・協働しながら、復興完了に向けた施策に力を入れるとともに、「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる将来像の実現に向けた取組を着実に推進してまいります。特に、DX（デジタル・トランスフォーメーション）による「変革みやぎ」の実現に向けて、民間の力も活用しながら、あらゆる分野でデジタル技術のフル活用を進め、県民サービスの向上や県内産業の活性化等を図ってまいります。中でも、県民向けのDX施策については、デジタル身分証アプリを活用し、利便性の高い県民アプリとしての普及拡大に向け、市町村と一体となって、幅広い分野での活用を図ってまいります。また、喫緊の課題となっている物価高騰に対しては、各種取組を迅速に進めるほか、人口減少への対応については、若者の県内定着や子ども・子育てを社会全体で支える環境整備など、次の世代を育成・応援する取組を重点的に推進いたします。

今後とも、多様な主体による魅力ある地域づくりを進めるとともに、県民一人一人が幸福を実感し、いつまでも安心して暮らせる宮城を目指して取り組んでまいりますので、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶



仙台市長
郡 和 子

明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、輝かしい希望を胸に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、市民の健康と生命を守る重要なライフラインである上下水道の安定的な維持管理・事業運営のため、日々ご尽力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年は、ウクライナ情勢を背景としたエネルギー価格や物価の高騰など、市民の皆様の暮らしにも大きな影響が生じました。社会経済の先行きには一層の不透明感が増し、現在に至っても予断を許さない状況が続いております。しかし、一方では、新型コロナウイルス感染症のカテゴリが5類に移行したことにより、全国各地で各種のイベントや会合が盛大に開催できるようになってきました。交流人口の回復に弾みが付き、社会全体に活気が戻ってきた1年でもありました。

本市におきましては、昨年4月から6月にかけて、54日間にわたって「第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023」を開催いたしました。市内外から115万7千人に及ぶ皆様にご足をお運びいただき、「杜の都」の自然の豊かさ、まちの快適さ、そして花と緑に親しむ心地よさなどを知っていただくことができました。併せ、地域経済の活性化にも大きく貢献できたものと思います。

また、8月には、「仙台七夕まつり」を4年ぶりに通常規模で開催し、来場者数は、令和元年を上回る約226万9千人に上りました。初の夜間イベントである「-仙台七夕ナイトフェス-宵灯り」を青葉山エリアにて実施するなど、観光客の方々のみならず、広く市民の皆様にも、仙台の新たな魅力を実感していただけたものと感じております。

本市といたしましては、「杜の都・仙台」の更なる観光の再生・発展に向けて、多くの市民や事業者の皆様と力を合わせ、本年も一歩ずつ進んでまいりたいと考えております。

さて、先のコロナ禍を契機として、生活様式やワークスタイルが大きく変化し、社会全体として「デジタル化」へ向けた取り組みがより強く求められるようになってきています。このため、本市といたしましても、デジタル化の推進に向けた各般の事業に鋭意取り組んできたところですが、なお一層の加速化を図るため、本年は、現行の「仙台市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に次ぐ新たな計画を策定することとしております。次期計画では、窓口における「オンライン手続化」をはじめとした市民サービスの向上のほか、市役所内における業務システムの見直し、各種事務処理のデジタル化・ペーパーレス化による業務の効率化など、具体的な実施項目を盛り込み、「Full Digitalの市役所」を目指してまいりたいと考えております。

また、本市の基本計画に掲げた「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」の実現に向け、社会の変化にしなやかに対応していくことはもちろんのこと、市民の皆様と協働して住み良いまちづくりを進めるなど、「選ばれる都市」を目指し、引き続き各種施策に着実に取り組んでまいります。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、上下水道はもとより、市政運営の万般にわたりまして、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして実り多き1年となりますよう、心よりご祈念を申し上げまして、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



仙台市水道事業管理者

佐藤 伸治

新年、明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、澁刺たる息吹とともに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年も、本市水道の安定的な事業運営に多大なるお力添えを賜りましたことに、この紙面をお借りいたしまして、衷心より御礼を申し上げます。

昨年の1月には、「十年に一度」と称された大寒波が襲来し、水道管の凍結・破裂件数が前年度より大きく増加いたしました。私ども水道局では、特に気温の低下が見込まれた期間におきまして、寒波警戒配備を敷き、関係する部署間における連携を強化しながら機動的な対応に努めたところでしたが、この際、24時間365日体制である「水道修繕受付センター」では、数多くのお問い合わせに適切にご対応を頂き、お客さまの安心・安全の確保に、大きな貢献を果たして下さいました。

ウクライナ紛争を契機とした資材価格やエネルギー価格の高騰・高止まりが今なお続いております。多くの困難が重なる中で、組合員の皆様におかれましては、日々私ども水道局を力強く支えて頂いており、重ねての感謝を申し上げる次第です。誠にありがとうございます。

さて、人口減少社会の本格的な到来等により、水道事業を取り巻く環境は、年々その厳しさを増しています。給水人口の減少によって水需要が縮小する一方、拡張期に整備した数多くの施設・管路の老朽化が進み、更新需要は増加の一途を辿っております。必要な財源の確保と合わせ、技術・ノウハウの継承、現場のマンパワー不足といった課題も顕在化してきており、これら諸問題を乗り越えるためには、私ども事業体と関係する業界の皆様とが、無用の垣根を取り払い、これまで以上に連携を深め、力を合わせていく必要があるものと強く感じております。

本年は、「仙台市水道事業中期経営計画」の最終年度を迎えます。この間、管路更新のペースアップや共同浄水場の整備など各般の事業を進めてきましたが、引き続き皆様のご理解・ご協力を頂きながら、「総まとめ」の年に相応しい成果を上げられますよう、しっかりと取り組んでまいります。また、次の中期経営計画の策定に当たりましては、本市の水道業界全体が「元気」になりますよう、そして、そのために私ども水道局が十分な役割を果たすことが出来ますよう、持続可能な経営の実現に向け、実効性あるプランとすべく取り組んでまいりたいと考えております。

本市水道は、昨年3月に「給水開始100周年」という大きな節目を刻みました。これをもって心機一転、「次の100年」に向かって、全職員が心一つに新たな一歩を踏み出したところです。市民の暮らしと生業とを支える重要基盤たる水道事業。そうした大切な事業に携わっているということに、無上の誇りと深い使命感とを共々に抱きながら、これからも安全で良質な水道水を安定的にお届けするため、皆で力を尽くしてまいります。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、今後とも尚一層のご支援を賜りますようお願いを申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き1年となりますよう、益々のご発展・ご隆盛を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしく願いを申し上げます。

新年のご挨拶



宮城県中小企業団体中央会

会長 佐藤 勘三郎

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮城県管工業協同組合の皆様には、日頃より本会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、特に昨年10月の第75回中小企業団体全国大会開催時には多くの方々にご参加を頂き、多大なるご協力を頂きましたこと重ねて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の法律上の取り扱いが5類に移行したことに伴い様々な場面に於いて行動制限が緩和され、経済の循環が好転していくことに期待感が寄せられましたが、前年からのロシアによるウクライナ侵攻等に端を発したエネルギーや原材料等の価格高騰は極めて著しいものがありました。経済情勢に関する政府の捉え方として賃金水準の大幅な伸びやこれを支えるための価格転嫁の推進などにより賃金と物価の好循環を実現させていくことが掲げられておりますが、大多数の中小企業、小規模事業者にとっては非常に厳しい経営環境下に置かれているというのが実際のところだと認識しています。特に価格転嫁に関しては各業界によって事情等は異なると思いますが、対大手、中小企業者同士、一般のお客様等、その方向によっては需要の回復や今後の伸びなどにも影響を与えかねずより丁寧な対応が必要と思料します。また、人手不足に関してはあらゆる業界で将来展望の大きな阻害要因の一つになっております。各業界では当然ながら直接人の手が関わらなければならない部分もありますが、これらの厳しい経営課題の解決に向けては、それぞれがその実態や特性に合わせ省力化、生産性向上への投資やDXに関する取り組み等に着手し、挑戦していくことが必要不可欠であり、待ったなしの時代を迎えていると思います。

本会といたしましては、先の全国大会に於いて決議された中小企業・小規模事業者等の危機的状況の克服など各要望項目の実現に向け今後とも全国中小企業団体中央会とも歩調を合わせた活動を展開するとともに、中小企業組合等連携組織の専門支援機関として、引き続き行政、関連支援機関の皆様とも連携し、会員の皆様が抱える経営課題の克服に向けた取り組みへの支援等についてこれまで以上にお役に立てるよう全力で努力を続けてまいります。

今年の干支である「辰」は十二支の中で唯一の想像上の生きものですが、力強さや成長という意味合いを持っていると言われていたようでございます。

本年が貴組合及び組合員企業の皆様にとってより力強い飛躍発展の年となることをご祈念申し上げますとともに、引き続き本会への更なるご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



宮城県建設産業団体連合会

会長 千葉 嘉 春

新年明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様方には、お健やかに新春をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。

県内建設業を取り巻く環境は、東日本大震災における復旧・復興事業におけるハード面での整備が完了した反動で、想定以上に建設投資額が激減状態にあり、加えて、円安や世界各地での安全保障環境の悪化により内外経済の先行きが不透明になる中で、物価高、資機材価格の高騰・品薄の影響等によって、我々地域建設産業にも深刻な影響が広がっております。

また、受注生産、屋外、移動生産という特性、及び季節による工事量の変動等、建設産業特有の建設工事において、「地球沸騰化」といわれる酷暑が長期にわたった昨夏、建設産業従事者に必要な対策を講じても基準値まで低減できない、あるいは対策を講じること自体が難しい現場環境が、結果として休憩時間が増え、終日不稼働となる日も発生するなど、日当り作業量も極端に落ちており、休憩時間が半分を占めるとともに施工効率も半減している実態にありました。

さらには、建設業においては罰則付きの時間外労働規制の適用を2024年4月に控え、上限設定に加え、準備や後片づけ、手待ち時間などの労働時間算入により1日の実作業時間が圧縮されること、天候不良や地球沸騰化による作業不能日が生ずることなどから、これらを踏まえた適正な工期設定や実情に見合った割増補正、年収ベースでの賃金確保が必要不可欠となります。

一方で、地球温暖化の影響と考えられる頻発化・激甚化する自然災害がとどまるところを知らず、災害発生時においては、地域建設産業が事前のパトロール作業や応急・復旧対応などに真っ先に駆けつけ対応にあたっているところではありますが、これら自然災害等による被害は国民生活に多大な影響を与えることから、更新時期にある社会インフラの老朽化対策を含めた国土強靱化や地方創生に向けた安定的・継続的な未来への投資が望まれるところでもあります。

建設産業界における将来の担い手確保が大きな課題となる中で、「4週8休」「週休2日」に向けた働き方改革や賃金アップ、建設キャリアアップシステム（CCUS）を始めとした処遇改善施策等、建設産業界挙げての対応が急速に進められており、地域建設業にも大きな変革が必要とされております。加えて、生産性向上へのICT、DX・GXの取組など、新たな3K（給料・休暇・希望）に「カッコいい」を加えた新4Kの実現に向け、環境改善を進めているところであり、当建産連と致しましても、やりがいや誇りと魅力ある産業づくりに向け真摯に取組んで参る所存ではありますが、いずれも、発注者側などの理解と連携・協力が必須でもあります。

人々の生活が続く限り存続し重要な役割を果たすのが建設産業であり、「命の水」を安定的に供給する重要な生活基盤を支える貴組合員の責務は非常に重要であることから、しっかりと将来の担い手を確保し、生涯を託せる魅力ある産業づくりに貴組合とも連携し一体となって進めて参りたいと存じます。

最後になりますが、貴組合並びに組合員皆様方がさらに飛躍発展されますことを心から念願し新春のあいさつといたします。

令和6年宮管新年祝賀会を開催

1月15日(月)、仙台市青葉区の江陽グランドホテルにおいて、新年祝賀会を開催したところ、来賓及び組合員等150名が出席した。

祝賀会は、午後5時30分に千葉事務局長の司会で開会し、はじめに井上理事長から能登半島地震で被災された方々へのお悔やみとお見舞いの言葉が述べられた後、「昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ前の状態のように世の中が賑わってきた。人手不足や時間外労働の罰則付き上限規制適用等、様々な問題を抱えているが、次の世代のためにも、たくさんの汗をかき、課題解決に取り組むことが私達の責務だと思っているので、是非皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶があった。



井上理事長



村井宮城県知事



高橋仙台市副市長



東北地方整備局大竹建政部長



佐藤水道事業管理者

続いて、村井嘉浩宮城県知事から「1月1日に能登半島地震が発生したが、貴組合は仙台市の要請を受けて応援隊を派遣されたとのこと。復興は長丁場になると思われるが、最後までご支援をお願いしたい。また昨年、台湾の半導体工場の誘致が決まった。インフラ等の整備も必要なので、一層ご協力いただきたい」、仙台市長(代理：高橋新悦副市長)から「能登半島地震において、年明け早々水道局職員と共に現地に向かっていたことに深く敬意を表するとともに感謝申し上げます。今後も貴組合の皆様方のご協力とご支援をお願いしたい」、国土交通省東北地方整備局長(代理：大竹将也建政部長)から「能登半島の地震で被害のあった新潟市内の水道管の応急復旧等にご尽力いただいていると伺っている。改めて敬意と感謝を申し上げます。建設業が、給料が良く、休暇が取れ、希望の持てる、更には格好良く他の産業に負けない魅力的なものとなるよう、皆様方と連携を図りながら取り組んでいきたい」と祝辞を頂戴した。



また、高橋伸二宮城県会議長からも挨拶をいただき、佐藤伸治仙台市水道事業管理者による乾杯の発声で開宴した。

出席者は、新年の挨拶を交わして和やかに歓談し、午後7時に小林副理事長の中締めで盛会のうちにお開きとなった。

仙台市水道事業管理者へ陳情

10月13日(金)、仙台市太白区の仙台市水道局大野田庁舎4階の第一応接室において、当組合と仙台市配水管工事業協会の両団体は、仙台市水道事業管理者に対して連名で、来年度事業に向けた陳情を行った。今回は、配水管整備事業に対する積極的な予算化と安定的な事業量の確保など5項目について要望した。

なお、仙台市水道局の出席者、両団体からの陳情者及び陳情項目は次のとおり。

－陳情会出席者－ [順不同・敬称略]

仙台市水道局：佐藤水道事業管理者・佐藤（敦）次長・佐藤（康）次長・大槻総務部長

宮野給水部長・渡部浄水部長・鈴木総務課長・千枝計画課長・林財務課長

宮城県管工業協同組合：井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事・堀理事

仙台市配水管工事業協会：大浦副会長・本山副会長・渡辺幹事

－陳情項目－

1. 予算について

老朽管の更新をはじめとした配水管整備事業に対して、一層積極的な予算化をお願い致します。

2. 事業量の確保について

宮管の組合員企業と水工会会員企業が経営を維持できるよう、安定的な事業量の確保と地元専門工事業者への優先発注に今後ともご配慮願います。

3. 週休2日制工事の順次導入拡大について

ご当局におかれましては、令和4年度から週休2日モデル工事の試行を開始され、それに伴う経費の補正にもご配慮いただいておりますが、休日の確保と慢性的な長時間労働を是正し、若年労働者の入職確保と定着を図るために、配水管工事について週休2日制を前提とした工事発注案件の順次拡大と、より実態に見合った経費率への見直しをお願い致します。

4. 水道施設整備費に係る歩掛表改定内容の早期適用について

令和5年度の歩掛表の改定では、水道配水管工事に携わる配管工の実態に合わせて、設計労務単価については4%の範囲内で加算できること、水道配水管用ポリエチレン管の施工（融着接合）に係る歩掛りについては適切な見直しをすることなどが盛り込まれました。

いずれも管工事業界から国へ要望して改定が実現した内容であり、既に採用している水道事業体もあることから、ご当局におかれましても早期に配水管工事の設計積算に反映していただけるようお願い致します。

5. 熱中症対策について

厚生労働省が提唱する熱中症対策としての休憩時間については、暑熱順化した作業員が暑さ指数(WBGT)基準値25℃の状況下で作業する場合、休憩時間を1時間あたり15分以上(1℃超過毎に15分付加・4℃超過で作業中止)とすることが望ましいとされておりますが、現状でこれを実践することは困難であり、現場状況に合わせて休憩時間を確保するように努めているのが実状です。

ご当局におかれましては、熱中症対策の経費として、現場管理費の補正を試行していただいておりますが、昨今のように真夏日や猛暑日が連日続くことで徐々に体内に熱が蓄積する、所謂「暑さ負債」による熱中症の発症事例等もあり、安全確保のために作業を一時中断して休憩あるいは休止し、その結果、作業効率が低下して工期に影響するような事態も生じています。

つきましては、熱中症対策としての休憩時間確保あるいは作業休止による工期の延長と、それに伴う費用の増加に対し、変更契約の弾力的な運用をお願い致します。



井上理事長（左）と佐藤管理者

令和5年度宮管地区連絡会ブロック会議を開催

令和5年度の地区連絡会ブロック会議が3回に分けて4年ぶりに対面で開催され、団結と融和を図る意味においても非常に有意義な会議となった。

この地区連絡会制度は、昭和51年に組合員からの要望によって発足し、情報交換、話題の提供、組合や関係機関等に対する質問及び要望事項等、日頃の諸課題について地区毎に少人数で組合執行部と会員とが意見を交換し、相互の意志疎通を図る絶好の場となっている。

各会議とも、井上理事長の挨拶に続き、小川常務理事から令和5年度上半期共同事業の実績報告があり、下期も特段のご協力を賜りたい旨が要望された。次に、吉田専務理事と堀理事から組合BCPの策定の主旨と内容、安否確認のためのアプリ登録の協力について説明された。次いで、堀理事から、令和5年度から水道配水管工事にかかる配管工の労務単価について、当面の間、公共工事設計労務単価に4%の範囲内で加算した額が使用されること等が説明され、水道局では令和5年10月以降の当該工事発注分から4%を加算した単価を適用していることが報告された。

また、事前にブロック会員から提出された議題は、その一部を後日開催予定の4者間（水道局・建設局・水道サービス公社・当組合）意見交換会の議題にする旨が説明されるとともに、会員から率直な意見が出される貴重な機会となった。

会議終了後には、それぞれのブロック主催による懇親会が開かれ、親睦を深めた。

会議項目と各ブロックの会議開催状況は次のとおり。

【会議項目（共通）】※詳細は別途送付の「ブロック会議総括表」を参照願います。

(1) 組合からの報告・説明事項

- ①上半期共同事業実績報告
- ②組合BCPの策定について
- ③令和5年度水道施設整備費に係る歩掛表の一部変更について

(2) 会員からの提出議題

- ・上下水道に関する課題・要望等

【各ブロックの開催状況】（開催日順・敬称略）

■泉ブロック

開催日 令和5年10月23日(月)
場 所 力寿司 清柳館
出席者 会員等20名

執行部 井上理事長以下四役、他
代表幹事 神田 和隆 (有明和設備工業)
副代表幹事 阿部 一貴 (三豊工業株)
担当理事 郷古 孝雄 (有藤英工業)



泉ブロック

ライフラインを支える使命

人々の暮らしを守る技術がマエザワにあります。



前澤工業株式会社

東北支店

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号 TEL (022)298-7611

www.maezawa.co.jp

■青葉ブロック

開催日 令和5年10月24日(火)
 場所 パレスへいあん
 出席者 会員等21名

執行部 井上理事長以下四役、他
 代表幹事 高田 浩之 (ウォーターワークス仙台(株))
 副代表幹事 扇 俊介 (藤倉設備工業(株))
 担当理事 小野 修司 (全栄興業(株))



青葉ブロック

■宮城野・若林・太白ブロック合同

開催日 令和5年10月30日(月)
 場所 ホテル白萩
 出席者 会員等30名

執行部 井上理事長以下四役、他

[宮城野ブロック]

代表幹事 佐藤 敏昭 (仙興設備(株))
 副代表幹事 氏家 利明 (ミノワ設備工業(株))
 担当理事 松岡 清一 (株松清産業)

[若林ブロック]

代表幹事 渡邊 修一 (有今野設備工業)
 副代表幹事 出野 正弘 (有共立設備)
 担当理事 大浦 明 (株仙塩管工事センター)

[太白ブロック]

副代表幹事 丹野 満倉 (株丹野設備工業所)
 担当理事 相澤 良朋 (株相澤設備)



宮城野・若林・太白ブロック

火無し工法だから、

1. ロウ付け不要
2. 施工時間を短縮
3. 火災・火傷の心配なし

ワンタッチ継手だから、

4. 特殊技能不要・締付け工具不要

「冷媒銅管用 ワンタッチ継手」
エフ-1
 ワン

流体をコントロールするのが仕事です。
株式会社 タブチ
 商品のお問合せは ☎06-6708-1051
 専用回線 受付時間 平日 9時 - 18時 13時 - 17時 (土日祝日 弊社休業日は除く)

クダイトの
迂回ユニット

あらゆる局面に対応する
GX形 B・Bユニット

少ない資材、少ない継手数で多種多様な障害物を迂回します。

ニーズに技術で応える
 株式会社 **クダイト** URL <http://www.kurodite.co.jp/>

仙台営業所 仙台市若林区区卸町1-6-15 (郡町セントラルビル)
 〒984-0015 電話 (022) 283-5959
 営業本部 愛知県高浜市八幡町1丁目1番地1
 〒444-1302 電話 (0566) 53-0901

上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会を開催

12月6日(水)、当組合3階研修室において、上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会が開催され、仙台市水道局より2名、同建設局より2名、仙台市水道サービス公社より3名、当組合からは上下水道委員を中心に10名の合計17名が出席した。

午後2時、はじめに当組合の郷古孝雄上下水道委員長と3機関を代表して水道局の植木義則給水装置課長から挨拶があり、続いて出席者が紹介され議事に入った。

なお、議事と出席者は次のとおり。

[議事]

仙台市水道局関係

- ①マイクロ図面の取り寄せについて
- ②中間検査について
- ③舗装本復旧に伴う影響部の取り扱いについて
- ④DX化への取り組みについて
- ⑤先行取出し図について
- ⑥給水装置課各窓口の対応について
- ⑦φ50mm以上のメーターボックス樹脂製の使用について
- ⑧断水・立会届出について

仙台市建設局関係

- ①汚水公共マス取付管工事(市負担)及び公設浄化槽について
- ②仙台市下水道閲覧システムについて
- ③汚水と雨水について
- ④取付管の申請について
- ⑤自己負担の取付管申請について
- ⑥下水道竣工検査申請時の写真について

(公財)仙台市水道サービス公社関係

- ①業者作成の竣工図検査について
- ②給水装置の申請窓口について

[出席者]

仙台市水道局給水部給水装置課

植木 義則 課長

天間 智哉 主幹(兼)給水装置係長

仙台市建設局下水道経営部業務課

福原 聡 課長

小甲 孝史 主幹(兼)排水設備係長

(公財)仙台市水道サービス公社

高橋 修 専務理事(兼)事務局長

大野澤 智 設備審査課長

永倉 洋 設備審査課主幹(兼)審査係長

宮城県管工業協同組合

郷古 孝雄 上下水道委員長(有)藤英工業 服部 達彦 上下水道副委員長(服部産業株)

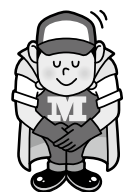
神田 和隆 同 委員(有)明和設備工業 古山 幸司 同 委員(山幸総合設備株)

後藤 和弘 同 委員(有)勇扇工業

吉田 秀之 専務理事 小川 憲昭 常務理事 堀 政信 理事

千葉 史規 事務局長 白戸 克治 工事部長

組合員の皆様には「ブロック会議総括表」と併せて「4者間意見交換会記録」を昨年12月下旬に送付させていただいておりますので、ご確認願います。



Mr. みやかん

青下の杜プロジェクト「秋の間伐活動」に参加



佐藤水道事業管理者

9月30日(土)、仙台市青葉区熊ヶ根の水道局青下水源地において、青下の杜プロジェクトの一環として秋の間伐活動が行われ、当組合は、青年部から6名の協力を得て、親子合わせて総勢13名が参加して、心地よい汗を流した。

当日、朝のうちは市街地で雨が降っていたが、青葉山トンネルを抜けると降り止んで、薄日が射すくらいまでに回復した。会場は市西部の丘陵地にあり、厳しかった残暑から解放されて、初秋の日よりとなった。午前9時に水道局職員と参加企業5団体あわせて約100名が芝広場に集合し、開会式のあと、今や恒例となった佐藤水道事業管理者の掛声に参加者全員が

元気に応じてから、それぞれ所管のエリアに分かれ活動を開始した。

作業にあたり仙台市森林アドバイザーの会の講師から、「うるし」の木の見分け方や伐採のコツなどの指導を受け、無理せず怪我せず安全に気を付けながら、間伐と枯れ木の除去作業を行った。家族連れの参加者も多く、お父さんたちがノコギリ引きに苦戦しているころ、子どもたちは広場で薪割り体験を楽しんだ。薪割り台に丸太をセットし、ハンマーで上から叩くときれいに半分に割れ、交代でたくさんの焚き木を作っていた。

毎週末、水道記念館の駐車場の一角では、近所の農家による青空市が開かれている。地元の野菜やキノコ類、そして炊き込みご飯、漬物などの加工品も並べられていて、青下の杜プロジェクトに通う楽しみの一つとなっている。

この広報誌が手元に届くころ、水源地は冬季休業に入っているが、4月には再び開場し、満開のサクラがお迎えするので、多くの皆様に、仙台水道の歴史を知ることのできる水道記念館、水源を養い育てる自然林、そして産直品を楽しみに青下の杜を訪れてほしいと願っている。



ノコギリ作業の様子



集合写真

令和5年度給水装置工事配管技能検定会開催



給工財団 清水参与

9月27日(水)と28日(木)の2日間にわたり、当組合構内において、公益財団法人給水工事技術振興財団(以下、給工財団)主催、公益社団法人日本水道協会と全国管工事業協同組合連合会(以下、全管連)の後援、全管連宮城県支部[宮城県管工事業協同組合連合会(以下、宮管連)]の運営により開催された。

水道法施行規則第36条第2号に、配水管から水道メーターまでの給水装置工事については、適切な技能を有する者に施工させる旨が規定されている。給工財団では、適切な技能を有する者を養成するため、平成11年度から「給水装置工事配管技能者講習会」を開始したが、水道事業発展への更なる貢献と技能を有する者の養成促進という観点から、平成22年に講習内容の検討と見直しを行い、平成24年度より「給水装置工事配管技能検定会」に変更されている。

この検定会は、2年以上の給水装置工事实務経験と配水管の分岐穿孔及び給水管の接合等の技術に関する基本的な知識を既に有する者、又は工業高等学校等の卒業者で配管実技を履修している者等を対象としており、今回は59名(うち、宮管組合員企業から9名)が受検した。

当日は、事務局を与える当組合の千葉事務局長が司会を務め、はじめに給工財団の清水伸之参与と宮管連の堀政信専務理事(当組合理事)から挨拶があり、実技監督員の紹介の後、運営の協力を頂いた前澤給装工業(株)の社員による分岐穿孔の模範実演が行われ、受検者はそれを参考にしながら課題に取り組んだ。

なお、検定内容は次のとおり。



宮管連 堀専務理事

【実技課程(120分)】

- 「配水管(ダクタイル鋳鉄管)へのサドル付分水栓の取付け」
- 「手動式穿孔機による配水管の分岐穿孔」
- 「給水管3管種(ポリエチレン二層管、硬質塩化ビニル管、硬質塩化ビニルライニング鋼管)の切断・接合・組立」

【学科課程(90分)】

- 「水道法」「水道水質」「給水管、継手、分水栓及び各種弁類」「給水装置工事」「道路上における給水装置工事」「水理学の基礎」



実技課程の様子



用途に合わせて選べる TAKの水道管シリーズ

製造、販売

- | | | |
|--------------------|-----------------|---------------|
| ●ステンレスプレファブ鋼管 | ●鋼管プレファブ管 | ●伸縮可撓継手 |
| ●硬質塩化ビニルライニング鋼管 | ●水輸送用塗覆装鋼管 | ●スネークジョイント |
| ●耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 | ●水道用ポリウレタン塗覆装鋼管 | ●フッ素樹脂ライニング鋼管 |
| ●ポリエチレン粉体ライニング鋼管 | ●集合住宅給水システム | ●特殊ダクト |
| ●ナイロンコーティング鋼管 | ●鋼管継手・鋼製プレファブ管 | |

株式会社 多久製作所

アクア・プラントカンパニー 東日本水道営業統括部 東北グループ

〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井四丁目26番地2 TEL.(022)288-2161 FAX.(022)288-2164

<http://www.tak-ss.co.jp/>

令和5年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催

9月29日(金)と30日(土)の2日間にわたり、当組合3階研修室において給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催したところ、組合員の従業員等18名が受講した。この講習会は主任技術者試験合格の一助となるよう例年開催している。今年度は9月29日が下水道排水設備工事責任技術者試験の受験講習日と重なったので、当該講習を受ける方への対応として10月2日(月)を代替日に設定して2日間の講習日を確認し、講師は当組合の白戸工事部長が務めた。

開講にあたって松岡清一総務・厚生委員長(株松清産業)から「この講習会の機会をいかして、合格できるように頑張っていたきたい」との挨拶があった後、早速講習に入った。



松岡委員長

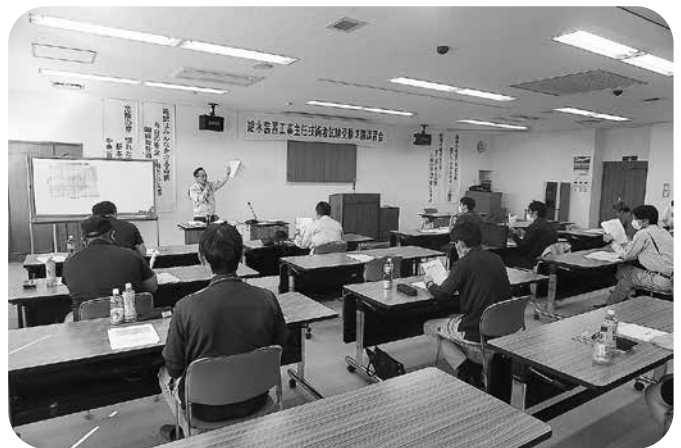


白戸部長

冒頭、講師の白戸部長より、全ての科目で合格点を取る必要があること等、試験の合格基準の具体的な説明があり、また、過去問題をしっかり繰り返して解き、落ち着いて試験に臨めば確実に合格に近づくので、受講生の皆さんは仕事をしながらで試験勉強は大変だと思うが、2日間をしっかりと活用し、講習後も勉強を続けてほしいと話があった。その後、2日間にわたり、『給水装置工事技術指針』と全国管工事業協同組合連合会発行の『これならわかる問題と解説』から抜粋して作成した資料によって過去問題を解きながら解説していく形で講習が行われた。出席者は、集中して講義を受け、演習問題に取り組んでいた。

【講習内容：試験範囲全般】

公衆衛生概論、水道行政、給水装置工事法、給水装置の構造及び性能、給水装置計画論、給水装置工事事務論、給水装置の概要、給水装置施工管理法



真剣に講義を受けていました



ボールバルブ 21型・21α型
電動式 Z型 呼び径：15～50mm

ユニバーサルAC電源に対応

軽量化

従来品に対してアクチュエータ重量 20% 減

高耐食

(樹脂製ハウジング)

ARIGATO ㊗ ASAHI ㊗



旭有機材株式会社 管材システム事業部 仙台営業所

TEL:022(213)3911 / FAX:022(213)3912

宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会を開催



白石工業 佐々木校長

10月3日(火)と4日(水)の2日間にわたり、宮城県白石工業高等学校(以下、白石工業)において、同校の設備工業科2年生を対象に標記講習会を開催し、合計35名が参加した。開催にあたっては、当組合が主体となり、メーカー3社(株クボタ・積水化学工業(株)・前澤給装工業(株))の協力を頂いた。

同講習会は、近年、配管施工に関する技術が目覚ましく進展している中で、学校のカリキュラムだけでは、なかなか学ぶことが出来ない配管工事の最新技術を体験学習するもので、令和3年度からスタートし、今回は3回目の開催となった。

3日午前11時、はじめに白石工業の佐々木隆義校長から挨拶があり、続いて当組合の井上理事長から挨拶があった後、講師が紹介され、講習に入った。

一般社団法人日本ダクティル鉄管協会(株クボタ)が水道施設とダクティル鋳鉄管について、積水化学工業(株)が水道配水用ポリエチレン管の施工について、前澤給装工業(株)がサドル付分水栓と施工について、それぞれ担当者が座学で説明を行った。

座学の後、実技講習が4~5人一組の3班に分かれて行われ、各コースを2日間に分かれて順番に体験した。



水道配水用ポリエチレン管についての講習



ダクティル鋳鉄管の接合



サドル付き分水栓施工

ダクティル管 日本鋳鉄管(株) 特約店

ナング 株式会社 **ナング**

代表取締役 植原文夫

(本社) 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里3-6-7
(東北営業所) 〒981-3215 仙台市泉区北中山4-1-2

電話 03(5809)0562(代) FAX03(5809)0563
電話 022(379)4393(代) FAX022(379)4394

仙台市水道局主催の県内水道事業体職員を対象とした水道実務講習会に協力

10月27日(金)に仙台市太白区の水道局茂庭浄水場内水道研修施設において開催された標記実務講習会に、宮管役職員4名と渡辺建設工業㈱から2名、佐静建設㈱から2名の社員が指導員として参加した。

当日は、県内10水道事業体の若手職員20名が研修施設に集合し、10時半からのオリエンテーションに続いて2班に分かれて、水張り操作、漏水調査、危険予測訓練、凍結作業の実習訓練に取り組んだ。

当組合が協力した凍結作業訓練では、液体窒素20リットル入りボンベ3缶、スチロール箱、ガラスパテを用いて、充水されたダクタイル鋳鉄管の一部を箱で包み隙間を埋め、その中に液体窒素を流し込み、凍結による止水を確認した。

講師役の鬼川技士長は、マイナス196℃と極めて低温で白煙を上げる液体窒素の取り扱いや気化による酸欠事故の注意、上手く凍結させるためのコツを一つひとつ丁寧に受講者に説明し、交代で作業を体験してもらった。止水確認後は、温水で凍結部を温め、解けかけの氷塊を管端部の弁から排出させて復旧を確認した。

この研修施設では、本来は地下に埋設されている配水管や弁類を地上で組み上げ、さらに管路の一部を鋳鉄管から透明なアクリル管に置き換えることで、エアだまり、ウォーターハンマー現象、ピグ洗浄の様子を目視できるなど様々な仕掛けが作られている。また、水圧による管の抜け出しという危険事象も安全に体験することができ、通水作業を直営で行っている事業体職員には重要な研修を行うことができる。

今回は、台風やコロナ禍により平成30年以来しばらくぶりの開催となり、鉄部の再塗装、白濁したアクリル管の交換、雑草除去など、施設を所管する局総務課研修係では気合を入れて準備を行っていた。



注意事項を説明する鬼川技士長（中央）



当組合から指導員として参加した皆さん

ここでしか見ることのできない管路施設なので、組合員や組合職員も機会があれば見学してみたいと思います。



Mr. みやかん

長年の経験・技術で水道事業に貢献致します。

水道用ゴム輪・フランジパッキン・ポリエチレンスリーブ・サンエコシート・埋設シート・管明示テープ・ロケータリングワイヤー



水道用ゴム輪



フランジパッキン



ポリスリーブ



溶剤浸透防護スリーブ



水圧試験機本体



折り畳み開栓機

日本水道協会第1種検査工場 ISO9001:2015(本社・滋賀工場)

ISO14001:2015(滋賀工場) 認定取得



サンエス護工業株式会社

仙台支店

〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井五丁目1番地の3
TEL 022-287-1601 FAX 022-287-5383

「みやぎ建設産業架け橋サロン」開催

12月13日(水)、宮城県白石工業高等学校において、「みやぎ建設産業架け橋サロン」が宮城県の主催で開催された。建設産業では現在、従事者の高齢化や若手技術者・技能者の減少等により担い手不足が深刻化している。そこで、地元建設企業の若手技術者・技能者が、建設産業の将来の担い手として期待される県内工業高校の生徒と交流し、建設産業の魅力ややりがい、労働環境等を直接伝えることで建設産業に対する関心・理解を醸成し、今後の就労促進を図ることを目的として同校の1年生を対象にこの架け橋サロンが実施されており、今回4年目となる。当組合は県からの要請を受けて、組合員企業から若手の技能者を派遣した。



白石工業 日下科長

当日は、午前9時に県土木部事業管理課建設業振興・指導班の坂井雄亮主事の司会で開会し、同校設備工業科の日下真一科長から挨拶があった後、(一社)宮城県建設業協会を代表して(株)松浦組の松浦洋平代表取締役から、建設業について、“完成した建物は形として後世まで残ること”“チームで1つの建物を創り上げる魅力”“無くならない産業であること”等を生徒に分かりやすく説明されるとともに、建設業もDX化が進んできており、それに精通した若い人たちの入職を期待する旨の話があった。

次に、県が制作した建設業入職促進支援・啓発動画を視聴した後、生徒が4つのグループに分かれ、グループのコーディネーター役を当組合から派遣した石川昂由氏(株)いづみ衛生施設工業)の他、(一社)宮城県建設業協会から派遣された猪股諒輔氏(株)松浦組)、(一社)宮城県空調衛生工事業協会から派遣された天野剛基氏(株)ホシナ)、(一社)宮城県建設専門工事業団体連合会から派遣された阿部盛樹氏(株)阿部塗装工業)が務めた。15分間ずつのフリートーク形式で進められ、コーディネーターの4名は各グループを移動しながら生徒全員と交流を図った。今の仕事を選んだ理由、仕事の内容や魅力、給料、休暇の取得状況、建設業に必要な資格等の様々な質問に答えながら意見を交換する中で、CADは覚えておいた方が良い、仲の良い友達だけではなくいろいろな人と話をしてほしい、視野を広げてほしい等、時折笑いを交えながら各々の考えや思いを伝えた。

最後に生徒から「やりがいのある仕事であることは分かった」「雇ってもらえるよう勉強を頑張りたい」等の感想が述べられて終了した。



(株)いづみ衛生施設工業の石川氏

町野式口金内蔵

ラクエア **耐震補修弁** **マルチガスケット**

水道用バルブから水処理まで

時代に應える製品で
安心・安全な水を届けます。

SGS 株式会社 清水合金製作所

仙台営業所 仙台市若林区河原町1-5-1 ハイツ河原町 TEL 022-217-1312 FAX 022-217-1320
本社(滋賀県彦根市)・札幌・青森・東京・名古屋・大阪・中国四国・九州

令和5年度宮管親善ボウリング大会を開催

11月15日(水)、仙台市宮城野区のコロナキャットボウル仙台店において恒例の宮管親善ボウリング大会を開催したところ、組合員従業員18社106名が参加した。この大会は、福利厚生事業の一環として総務・厚生委員会が担当している。

大会開始時刻の午後6時30分、出野正弘委員（有共立設備）の司会で開会し、はじめに井上理事長から挨拶があり、続いて、ボウリング場の担当者からルール説明が行われ、5分間の練習ボールの後、一斉にスタートした。手指消毒等、感染リスクの低減に協力をいただきながらの大会となったものの、個人戦のほか団体戦も4年ぶりに実施することができた。会場内は、ストライクやスペアが出ると歓声を上げたり、拍手をして盛り上がる姿などが見られ、熱気に包まれた。

表彰式は、佐藤敏昭委員（仙興設備株）の司会で進められ、高田浩之委員（ウォーターワークス仙台株）が成績発表を行い、松岡清一総務・厚生委員長（株松清産業）から入賞者へ賞品が手渡された。個人戦は、男性の部では、株安達工業の高橋健さんが1ゲーム目にパーフェクトを出して優勝し、女性の部では株安達工業の飯野幸江さんが優勝した。また、団体戦も株安達工業が栄冠を勝ち取った。

なお、結果は次頁のとおり。



ハイタッチ等をして喜び合う姿が見られました

株式会社 **キッツ** の 給水装置用製品

- サドル付分水栓
- ボール止水栓
- 甲形止水栓
- 逆流防止弁
- 青銅製継手
- 水道用ポリエチレン管金属継手 (KCPジョイント)
- 塩ビ管用伸縮可とう式継手 (ルークジョイント)
- フレキシブル継手
- 給水・給湯樹脂管用ワンタッチ継手 (クリアロックS)
- メータユニット



■ お問い合わせは
東北営業所
〒980-0811
仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル
☎022-224-5335 Fax 022-224-5336
ホームページ <https://www.kitz.co.jp>

The next quality. The next performance.

GENEX

For Earth, For Life
クボタ



株式会社 **クボタ** パイプシステム事業部

[個人戦：男性の部]

順位	氏名	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	高橋 健	(株)安達工業	300	204	504		504
準優勝	前塚 芳貴	(株)安達工業	190	195	385		385
第3位	石川 昂由	(株)いづみ衛生施設工業	177	168	345		345
第4位	稲垣 千浩	(株)丹野設備工業所	180	153	333		333
第5位	渡辺 治美	(株)いづみ衛生施設工業	137	168	305	20	325

[個人戦：女性の部]

順位	氏名	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	飯野 幸江	(株)安達工業	202	179	381	50	431
準優勝	西村 瑠亜	(株)安達工業	135	145	280	50	330
第3位	高橋 静穂	(株)ヨネヤマ設備	125	150	275	50	325
第4位	櫻岡 史子	三建設備工業(株)東北支店	121	93	214	50	264
第5位	石川みゆき	(株)いづみ衛生施設工業	97	106	203	50	253



松岡委員長から表彰を受ける高橋さん（左）



松岡委員長から表彰を受ける飯野さん（左）

[団体戦]

順位	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	(株)安達工業	831	744	1575	50	1625
準優勝	(株)丹野設備工業所	557	542	1099	20	1119
第3位	(株)宮城日化サービス	513	497	1010	50	1060



団体戦優勝の(株)安達工業の皆さん

第51回仙台市技能功労者表彰を受賞 ～ウォーターワークス仙台(株) 安曇 直人 氏～



ウォーターワークス仙台(株)
安曇氏

仙台区に勤務している技能者及び自営業者で、経験30年以上を有し、他の技能者の模範と認められた方が表彰されている。

誠におめでとうございます。

11月13日(月)、仙台市宮城野区の仙台サンプラザにおいて、仙台市主催による第51回仙台市技能功労者表彰式が行われ、席上、当組合から推薦した組合員ウォーターワークス仙台(株)の安曇直人氏が受賞した。

表彰式は、はじめに仙台市長(代理：藤本章副市長)の式辞があり、続いて、来賓を代表して仙台市議会議長(代理：鈴木広康副議長)と仙台市技能職団体連絡協議会阿部忠会長から祝辞が述べられた後、24職種36名に対し、表彰状の授与が行われた。

仙台市技能功労者は、仙台市内の



表彰を受ける安曇氏(左)

ひとつの金具がすべてを変える

らく吊X[®]

「抜群の施工性」
ナットを外さずに施工ができます。
配管吊り込み時にパイプの調整が楽にできます。

「向上した安全性」
3つ(脱線防止・外れ防止・自動ロック)の新機構で表現した、これまでに無い安全性

「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」

この巻きやすさ、世界記録!
ミニチュアボールバルブ等の小径ネジにぴったり。
カバー付きでホコリが付きにくく、ほつれも防ぎます。

名称	ORENOシールテープ
品番	797-080 非売品
内容量	テープ幅8ミリ×5m
販売元	株式会社カクダイ 〒984-0015 仙台市若林区卸町2-4-14

●食べることはできません。
●牛乳に浸さないでください。

今すぐ
チェック

「みやぎの建設技能グランプリ」表彰・「建設雇用改善優良事業所」表彰を受賞 ～(株)ヨネヤマ設備 高橋淳也氏・(株)三浦組(代表取締役 三浦修氏)～

11月28日(火)、仙台市青葉区の宮城県建設産業会館において、令和5年度宮城県建設雇用改善推進大会が開催され、席上、当組合から推薦した(株)ヨネヤマ設備の高橋淳也氏が「みやぎの建設技能グランプリ」功労賞を受賞した。また、別団体から推薦を受けた組合員(株)三浦組(代表取締役社長 三浦修氏)が建設雇用改善優良事業所として(一社)宮城県建設業協会(以下、宮建協)長表彰を受賞した。

「みやぎの建設技能グランプリ」表彰は、優れた現場技能者を対象として、「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲を喚起し、その能力と資質の向上を図り、もって建設業の健全な発展に寄与することを目的に宮建協が行っている。高橋氏は、長く管工事業に従事し、職長(配管工)として経験を積み上げ、その卓越した技能を後進の指導に生かすとともに、登録配管基幹技能者に登録し、更なる高みを求めて邁進する姿勢は他の模範となっている。また、安全管理にも十分留意し、20年間無事故を継続していること等が高く評価された。

「建設雇用改善優良事業所」表彰は、宮城県と宮建協が建設労働者の雇用の改善、能力の開発・向上、福祉の増進等について積極的に取り組み、その成果が見られる建設業事業主に対して行うもので、(株)三浦組はその功績が認められ、宮建協会長賞を受賞した。

誠におめでとうございます。



(株)ヨネヤマ設備 高橋氏



(株)三浦組 三浦社長





「ゾーン」

服部産業(株) 代表取締役
宮城県管工業協同組合
理事 服部 達彦

人生50年を過ぎ、いろいろなことを経験して来たと思います。楽しいこと、嫌なこと、不思議な事…。その中で、今回、私が経験した不思議な体験？をお話ししたいと思います。

私は小学校から高校まで剣道をしておりました。子供の時にいろいろな習い事をしましたが、どれも挫折。唯一続いたのが剣道でした。何故続けられたのかはよく分かりませんが、自分の肌に合っていたのでしょう。

子供の頃から続けていたので、ある程度の強さにもなり、他人との優位性も感じていました。そのまま鍛錬していれば良かったのですが、“あるある”で、少し上手いと、それをいいことに全く練習せず、放課後は友達と野球やサッカーをして遊ぶ毎日。それでも剣道部部員からは一目置かれていたような感じでした。

そして、中学2年の秋に新人戦を迎えたその時、不思議な体験が起こります。私はチームに勢いをつけるために団体戦の先鋒を任せられ、試合会場の宮城県武道館の中央にいました。新人戦の開幕試合で、前年の中総体優勝校を対戦相手として試合を行うためです。当然のごとく極度の緊張状態にありました。吐く息が熱く、心臓の鼓動が「ドクン、ドクン」と今までにないくらい聞こえたのを覚えています。相手は私より断然体格が良く、身長も高く、雰囲気からも強さが伝わってきました。会場の誰が見ても相手の方が勝つだろう…そんな空気感の中、審判の「はじめ！」の掛け声。それまでの試合は、日々の稽古の賜物で身体が動くのですが、その時は極度の集中と緊張により、身体がふわふわした感じでした。試合に入った瞬間に、いつもある高揚感ではなく、精神的にも平静を保つようなそんな不思議な感じだったと思います。(言葉に表すのは難しいですが…)

その時に今までにはない不思議な体験が…。試合を開始してから終わるまで全てが超スローモーションなのです！会場の歓声とか全く耳には入らない無音の空気感、防具越しに見える相手の表情以上の眼球の動き、映像的には本当に映画やドラマのコマ送りのシーンのような感じでした。竹刀の太刀筋、動き全てがゆっくり見え、自分の予想通りの動きで対応できたのです。試合は小手2本による勝利。よくプロスポーツ選手の話で野球の球の縫い目が見えたとか、マラソン選手のランナーズハイなど聞くことがありますが、その類じゃないかと今でも思っています。

現在のアスリート用語では、俗に言われる「ゾーン(異次元体験)」。「ゾーン：高い集中力を保ち、適度な緊張状態とリラックス状態がバランスを維持する状態でスポーツの喜びと生きる喜びが一つになるととても幸せな体験」とネットにありました。あの感覚はその後の剣道を含め、今まで生きてきた中でその時の一度しか経験しておりません。あの感覚をもう一度味わいたく今まで以上に剣道の稽古に励んだりもしましたが、残念ながら二度と体験することはありませんでした…。

現在の自分とはいうと、様々な経験値を得た替わりの代償として、若い時の情熱が衰えてきている？ような…。50歳中盤を迎えて仕事や日常生活への集中力が落ちる時に、あの「ゾーン」を思い出します。けれど今はスポーツではなく、仕事をする喜びと生きる喜びが一つになるととても幸せな「ゾーン」に入れるよう、日々仕事にも、またそれ以外にも没頭しなければと思う今日この頃です(笑)。



労働条件明示のルール変更

北山 F P 社会保険労務士事務所
代表 北山 茂 治

令和6（2024）年度（令和6年4月1日）から、「労働基準法施行規則」と「有期労働契約の締結、更新及び雇止めに関する基準」の改正に伴い、労働条件の明示事項等が変更されることとなりました。

実際に該当するのは、労働条件通知書・雇用契約書・労働契約書の内容になります。令和6（2024）年4月1日以降に締結される労働契約から対象になりますので留意してください。

<労働条件の明示とは>

そもそも労働条件の明示とは、労働契約を結ぶ（更新の場合も含む）際、使用者が労働者に対し、契約期間、就業場所や業務、労働時間や休日、賃金、退職などに関する事項を明示することです。

無期転換ルールにより無期労働契約が成立する際、無期転換後の労働条件を明示する必要があります【労働基準法第15条】。

明示事項【労基則第5条】は以下の通りです。

- ①～⑥（昇給は除く）については、書面を交付して明示しなければなりません。
- ⑦～⑭については、使用者がこれらに関する定めを設ける場合は、明示する必要があります。
 - ①労働契約の期間 ②期間の定めのある労働契約を更新する場合の基準
 - ③就業の場所及び従事すべき業務 ④始業及び終業の時刻、休憩時間、休日等
 - ⑤賃金、昇給 ⑥退職 ⑦退職手当
 - ⑧臨時に支払われる賃金（退職手当を除く）、賞与及び最低賃金額等
 - ⑨労働者に負担させるべき食費、作業用品その他 ⑩安全及び衛生
 - ⑪職業訓練 ⑫災害補償及び業務外の傷病扶助 ⑬表彰及び制裁 ⑭休職

<新ルール：就業場所・業務の変更の範囲>

これは労働者全員（有期契約労働者を含みます）が対象です。

労働契約締結及び有期労働契約の契約更新のタイミングについては雇入れ直後の就業場所・業務の内容に加え、就業場所・業務の「変更の範囲」の明示も必要になります。

変更の範囲の明示が必要となるのは、令和6（2024）年4月1日以降に契約締結・契約更新をする労働者となります。

トラブル防止のため、制度改正以前から労働契約を結んでいる労働者についても、変更の範囲を明示することを、検討してください。

- ①就業場所・業務に限定がない場合は、すべての就業場所・業務を含める必要があります。
 - 《例》就業場所：（雇入れ直後）仙台営業所（変更の範囲）会社の定める営業所
 - 従事すべき業務：（雇入れ直後）建設に関する業務（変更の範囲）会社の定める業務
- ②就業場所や業務の変更範囲が一定の範囲に限定されている場合は、その範囲を明確にしましょう。
 - 《例》就業場所：（雇入れ直後）扇町出張所（変更の範囲）仙台市内
 - 従事すべき業務：（雇入れ直後）建設の業務（変更の範囲）建設及び設計の業務
- ③雇入れ直後の就業場所・業務から変更がない場合は、その旨を変更の範囲で明確にしましょう。
 - 就業場所：（雇入れ直後）宮城野センター（変更の範囲）宮城野センター

従事すべき業務：（雇入れ直後） 営業業務（変更の範囲） 営業業務

<新ルール：更新上限に関する事項>

これは有期契約労働者が対象です。

有期労働契約の締結時及び契約更新のタイミングごとに、更新上限（有期労働契約の通算契約期間または更新回数の上限）の有無とその内容の明示

《更新上限の明示の例》

- ・契約期間は通算4年を上限とする
- ・契約の更新回数は3回までとする

更新上限を新設・短縮する場合は、その理由をあらかじめ（新設・短縮をする前のタイミングで説明することが必要になります。

<新ルール：無期転換に関する事項>

これも有期契約労働者で働く方が対象です。

「無期転換申込権」が発生する有期労働契約の契約更新のタイミングごとに、労働基準法第15条に基づく労働条件の明示に加え、

- (1) 無期転換を申し込むことができる旨（無期転換申込機会）の書面明示
- (2) 無期転換後の労働条件明示

無期転換後の賃金等の労働条件を決定するに当たって他の通常の労働者（正社員等のいわゆる正規型の労働者及び無期雇用フルタイム労働者）とのバランスを考慮した事項（例：業務の内容、責任の程度、異動の有無・範囲など）の説明に努めなければならないこととなります。

- 《例》
- ・無期転換申込機会「本契約期間中に無期労働契約締結の申込みをした時は、本契約期間満了の翌日から無期雇用に転換することができる。」
 - ・無期転換後の労働条件「無期転換後の労働条件は本契約と同じ」又は「無期転換後は、労働時間を〇〇、賃金を〇〇に変更する。」

<その他の留意事項>

就業規則について

これは労働者全員（有期契約労働者を含みます。）が対象です。

そもそも就業規則とは、事業場における労働者の労働条件や働く上でのルールを定めたものです。常時10人以上の労働者を使用する使用者は、就業規則を作成し、労働基準監督署に届け出なければなりません【労働基準法第89、90条】。

また、常時各作業場の見やすい場所に掲示し、又は備え付けること、書面を交付すること等によって、働く方に周知しなければなりません【同法第106条】。

具体的には、就業規則を備え付けている場所等を労働条件通知書や社内メールなどで働く方に示すことなどにより、就業規則を必要ときに容易に確認できるようにする必要があります。

実質的な周知がなされていないと、就業規則の定めが労働契約の内容にならないことがありますので、就業規則を作成・変更する場合は、労働者に作成・変更の内容を周知しましょう。

労働条件通知書に就業規則を確認できる場所や方法の明示は今回の改正に基づくものではありませんが、法の趣旨に則って、できれば記載しましょう。

なお詳細は、厚生労働省ホームページから「2024年4月からの労働条件明示ルールの変更備えは大丈夫ですか？」パンフレットを確認してください。

令和6（2024）年度からは時間外労働の上限規制も始まります。それに伴って、36協定の様式も変更になりますので注意してください。

令和5年度親組合との意見交換会を開催して

副会長 大友 進（東水工業株）

9月29日（金）ホテルグランテラス国分町において、令和元年以来となる「令和5年度親組合との意見交換会及び懇談会」を開催しました。

まず初めに当青年部より、渡辺副会長（渡辺建設工業株）から新たな取り組みなど直近の事業報告が行われ、続けて高田代表幹事（ウォーターワークス仙台株）から今後の青年部の運営方法を含めた事業計画の報告を行い、意見交換へ移りました。働き方改革による休日問題、残業規制、担い手不足など青年部としても喫緊の課題であり、予定時間を大幅に超える熱い意見交換会となりました。青年部からの答えにくいような質問にも、井上理事長は一つひとつ丁寧に説明して下さり、たくさんの組合の現状の取組を教えてくださいました。今後も継続的に検討が必要な課題がたくさんあると思われました。

若干、重い空気のまま懇談会へと移っていき、内心「大丈夫かな？」という気持ちもありました。しかし、会が始まると、理事の皆さんは青年部OBへと姿を変えられ、いろいろな思い出話、叱咤激励などたくさんのお話を聞かせていただき、和やかな雰囲気時間が過ぎていきました。

なかなか体力を消耗する事業ですが、本気のぶつかり合いの中で、何か一筋の光が見えてくるのではないかと思う事業です。ご参会いただいた理事の皆さん、誠にありがとうございました。



令和5年度宮城県内管工事業協同組合青年部 合同秋季研修会に参加して

交流事業委員 長谷川 汐（㈱長谷川設備）

9月30日（土）、大崎市の鳴子観光ホテルにおいて、「令和5年度宮城県内管工事業協同組合青年部合同秋季研修会」が開催されました。今回の研修会は、新型コロナウイルス感染症により延期が続いた中、4年ぶりの開催となり、登米市管工事業協同組合青年部5名、石巻広域管工事業協同組合青年部5名、大崎市管工事業協同組合青年部11名、当会青年部9名の合計28名の参加となりました。

はじめに、大崎市管工事業協同組合青年部の結城秀樹部長から挨拶があった後、伊藤康志大崎市長と大崎市管工事業協同組合の高橋伸嘉理事長から、それぞれありがたい来賓ご挨拶をいただきました。続いて、(株)みずむすびマネジメントみやぎの安藤武智代表取締役副社長と同技術計画部の小野和子計画グループ長より、「宮城県上工下水一体官民連携運営事業とみずむすびの活動について」というテーマで講演いただきました。



始まるまで、漠然と「どうなんだろう？」と疑問に思っていた上工下水の民営化について、実際の運営者の方からの講演は理解を深めるものとなりました。

また、真面目な講義を拝聴した後は、盛大な懇談会を開いていただき、伊藤市長並びに小野寺五典衆議院議員を交えて普段聞けない世界のお話を伺ったり、交流を深める事が出来ました。

今回の研修会は私自身初参加でしたが、他団体の方々との交流は非常に勉強になり、次回の開催も是非参加したいと思えるものになりました。最後に大変お忙しい中お集まりいただきました皆様、準備いただきました大崎市管工事業協同組合青年部の皆様、改めて御礼申し上げます。

「令和5年度親善ゴルフコンペ」を開催して

親善ゴルフコンペ実行委員 星川 勇 (有)嘉平工業所

11月30日(木)、利府町の利府ゴルフ倶楽部にて恒例の青年部親善ゴルフコンペを開催しました。昨年は青年部会員とOB会員との縮小開催でしたが、今年は4年ぶりに他単組の方々にも参加いただいて盛大に開催することが出来ました。私自身が青年部に入会して17年になりますが、「そろそろゴルフをやらないとな」と思ったのが3年前のことで、このたび意を決し初めて青年部のゴルフコンペに参加させていただこうと思ったのが悪かったのか、当日の天候は最悪で、スタート時には雪が降っており、風も強く、クローズを匂わせるようなバットコンディションでした。

金来実行委員長(株)ユーワ技研)の司会で開会し、本山会長(本山振興(株))からの挨拶の後、競技説明、記念撮影を行い、雪降る中、皆さん肩をすぼめながらカートに乗り込み順次スタートしました。

ホールを重ねるごとに体が温まるかと思いきや寒さで体の芯まで冷えてしまい、思うように体が動かず皆さんだいぶ苦労されていました。そのような中、石巻広域管工事業協同組合青年部の渋谷昭さんが見事優勝を果たしました。また、準優勝には宮管青年部の阿部一貴社長(三豊工業(株))、3位には石巻広域管工事業協同組合青年部の高橋文彦さんという結果でした。みなさんおめでとうございます!ちなみに私は24位でした(トホホ…)



優勝した渋谷さん(左)と本山会長

最後にご多忙の中ご参加いただきました皆様には心より感謝を申し上げます。また、金来委員長をはじめ委員の皆さん、忙しい中段取りして下さい大変お疲れさまでした。

※参加人数26名(宮管青年部会員9名、宮管青年部OB7名、石巻広域管工事業協同組合青年部3名、大崎市管工事業協同組合青年部3名、全環衛生事業協同組合青年部4名)

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	※渋谷 昭	石巻広域管工事業協同組合	48	46	94	19.2	74.8
準優勝	阿部 一貴	三豊工業(株)	47	50	97	21.6	75.4
第3位	高橋 文彦	石巻広域管工事業協同組合	47	51	98	20.4	77.6
第4位	相澤 淳	(株)相澤設備	55	54	109	31.2	77.8
第5位	神田 和隆	(有)明和設備工業	49	55	104	25.2	78.8

※ベストグロス





我が社のおすすめ品！



Mr. みやかん

当組合お取引資機材メーカー各社様が、おすすめる製品を紹介するコーナーです。

自動不凍水栓柱『FICHE（フィーチェ）』

株式会社 竹村製作所

★自動不凍水栓柱『FICHE（フィーチェ）』は、第47回発明大賞（日本発明振興協会・日刊工業新聞社共催）において「日本発明振興協会会長賞」を受賞しました。

【商品詳細】

自動不凍水栓柱『FICHE（フィーチェ）』は業界初の凍結しそうな時にだけ、自動で水が抜ける水栓柱です。

【特徴】

①水抜き操作のし忘れの心配なし！

自動不凍水栓柱『FICHE（フィーチェ）』は、水抜き操作をしなくても、凍結しそうな気温になると、自動で水が抜けて凍結を防ぐ不凍水栓柱です。

急な寒波が来た時、不凍水栓柱の水抜き操作のし忘れで水道が凍ってしまう…という心配がありません。凍結を意識することもない、「水を抜く」という概念さえなくなります。

②1つのハンドルで、「通水・止水」・「流量調整」・「水抜き」ができる

普段の蛇口の操作で通水・止水・流量調節ができるだけでなく、凍結しそうな時には自動で水抜きもできます。

③環境にも、経済面にもやさしい

電気も余分な水も使わず、水道が凍りそうな気温になった時だけ水が抜けるので、環境にもお財布にもやさしいエコな製品です。

【構造】

○温度で作動する吸気開閉機構を内蔵

『FICHE（フィーチェ）』は、普段、ピストン部（TEバルブ）にあるワックスが膨張して通気の穴を塞いでいますが、寒い季節になり、凍結しそうな気温になると、ワックスの体積が収縮することで空気が水栓柱の中に取り込まれ、自動で水が抜けます。



★ホームページが新しくなりました！ URL <https://www.takemura-ss.com>

竹村製作所のホームページが新しくなりました。

パソコン・タブレットからもご覧いただけるようになり、各種資料のダウンロードもできるようになりました。ぜひ、ご覧ください。

〔問い合わせ先〕

株式会社 竹村製作所 仙台支店

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5-9-18

TEL 022-238-9110 FAX 022-238-9290

Automatic antifreeze faucet column

自動不凍水栓柱

FICHE

フィーチェ

何も、しなくていい。
凍る水道は、もういらぬ。



TAKEMURA

URL <https://www.takemura-ss.com>

組 合 の う ご き

- 9月1日(金)・星進氏(宮城県管工事業協同組合連合会元会長)黄綬褒章受章を祝う会に井上理事長、渡辺常任相談役外出席
- 9月3日(日)・2023仙台市下水道フェア開会式に井上理事長外出席、当組合ブースの運営に上下水道委員会の郷古委員長、星川委員外が従事
- 9月5日(火)・(株)宮城県管工事会館役員会に井上理事長、菅原・小林両副理事長外出席
- 9月6日(水)・令和5年度後期技能検定試験実施計画説明会に大槻調整係長出席
- 9月7日(木)・第49回全管連東北ブロック支部長会議(宮城県仙台市)に井上理事長、渡辺常任相談役、菅原・小林両副理事長外出席
- 9月11日(月)・広報委員会開催
①“みやかん”清秋号の発刊について
②“みやかん”新春号寄稿者の選定について
- 9月14日(木)・9月度理事会開催
※報告事項
①庶務報告
②共同事業実績報告
③広報委員会報告
④2023仙台市下水道フェア出展報告
⑤令和5年度地区連絡会各ブロック代表者等による全体打合せ報告
⑥宮城県立仙台高等技術専門校設備工事科実習生を対象とした職業講話実施報告
⑦職員の採用について
※協議事項
①仙台市水道局(水道事業管理者)への陳情について
※その他
①第75回中小企業団体全国大会(宮城大会)への参加者動員について
②令和5年度中間棚卸しの実施予定
- 9月15日(金)・第29回宮管・管工事機材展示会を開催、組合員等523名来場
- 9月19日(火)・令和5年度宮管親善ゴルフコンペを開催、組合員・取引メーカー等62名参加
- 9月20日(水)・令和5年度中間棚卸しを実施
- 9月22日(金)・佐々木英樹氏(岩手県管工事業協同組合連合会会長)黄綬褒章受章を祝う会に井上理事長、渡辺常任相談役出席
- 9月26日(火)・令和5年度(一社)全国建設産業団体連合会会長会議に井上理事長出席
- 9月27日(水)・令和5年度給水装置工事配管技能検定会開催、組合員従業員等55名受検
～28日(木)
- 9月29日(金)・宮管青年部連絡協議会との意見交換会に井上理事長外、役員等24名出席
- 9月29日(金)・令和5年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催、組合員従業員等18名
～30日(土) 受講
- 9月30日(土)・青下の杜プロジェクト「秋の間伐活動」に組合役職員と青年部会員等13名参加
- 10月2日(月)・令和5年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催、組合員従業員2名受講
- 10月3日(火)・宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会に井上理事長外出席
～4日(水)
- 10月10日(火)・第75回中小企業団体全国大会(宮城大会)特別企画トップセミナーに井上理事長出席
- 10月11日(水)・第75回中小企業団体全国大会(宮城大会)に井上理事長外役員10名出席
- 10月12日(木)・10月度理事会開催
※報告事項
①庶務報告
②共同事業実績報告
③令和5年度中間棚卸し結果報告

- ④給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会実施報告
- ⑤令和5年度配水管技能講習会（白石工業高等学校）実施報告
- ⑥第29回宮管・管工事機材展示会実施報告
- ⑦宮管親善ゴルフコンペ実施報告
- ⑧青下の杜プロジェクト「秋の間伐活動」参加報告
- ⑨顧問弁護士の現契約期間満了に伴う契約更新について

※協議事項

- ①第二倉庫の改修について

※その他

- ①「みやぎ建設産業架け橋サロン」への講師派遣推薦依頼について
- ②事業継続計画（BCP）策定の進捗状況について

- 10月13日(金)・仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情会に井上理事長外出席
 - ・組合員(株)丸浩設備工業遠藤義郎社長のご尊父遠藤浩吉様の通夜に井上理事長参列
- 10月17日(火)・全管連第356回理事会及び各部会打合せ会に井上理事長出席
 - ・仙台市水道局との意見交換会に道路内緊急修繕業者6社、吉田専務理事、堀理事外出席
- 10月19日(木)・令和6年度仙台市水道修繕受付センター業務委託に係る打合会に井上理事長外出席
- 10月23日(月)・令和5年度宮管地区連絡会泉ブロック会議を開催、会員等20名出席
- 10月24日(火)・令和5年度宮管地区連絡会青葉ブロック会議を開催、会員等21名出席
 - ・令和5年度後期技能検定実技試験実施に係る打合せ会に白戸工事部長出席
- 10月27日(金)・県内の水道事業体技術職員を対象とした仙台市水道局主催の「体験型実技講習会」で当組合（組合員渡辺建設工業(株)、佐静建設(株)）が凍結工法の模範実技を担当
- 10月30日(月)・令和5年度宮管地区連絡会宮城野・若林・太白ブロック合同会議を開催、会員等30名出席
- 10月31日(火)・第30回暴力団追放宮城県民大会に井上理事長出席
- 11月2日(木)・仙台電気工事業協同組合創立70周年記念式典・記念講演・祝賀会に井上理事長出席
 - ・令和5年度第2・四半期監査会開催
- 11月6日(月)・上下水道委員会開催
 - ※報告事項
 - ①令和5年度工事業の予算と上半期実績（4月～9月分）
 - ②仙台市指定給水装置工事業者並びに仙台市公認排水設備工事業者数の推移
 - ③水道フェア2023報告
 - ④2023仙台市下水道フェア報告
 - ※協議事項
 - ①4者間（水道局・建設局・水道サービス公社・上下水道委員会）意見交換会の開催について
- 11月9日(木)・11月度役員会開催
 - ①庶務報告
 - ②共同事業実績報告
 - ③上下水道委員会報告
 - ④令和5年度技能検定実技試験の実施について
 - ⑤令和5年度技能向上訓練（実技・学科部門講習会）の実施について
 - ⑥令和5年度仙台市技能功労者表彰受賞者報告
 - ⑦第2・四半期決算報告
 - ⑧第2・四半期監査報告
 - ⑨地区連絡会ブロック会議報告
 - ⑩令和6年度「仙台市水道修繕受付センター業務委託」に係る“休日（昼間）”の現地調査業務履行体制の一部拡充について
 - ⑪準組合員の脱退について
 - ※協議事項
 - ①仙台市営バスへの広告掲出延長について

- ②令和6年新年祝賀会について
- ③令和5年度官公需共同受注事業「配水管及び給水装置修繕工事」に係る“休日（昼間）”の宅地内待機修繕履行体制の一部拡充について
- 11月13日(月)・第51回仙台市技能功労者表彰式が開催され、組合員ウォーターワークス仙台(株)の安曇直人氏が同表彰を受賞
- 11月15日(水)・令和5年度組合親善ボウリング大会を開催、組合員従業員等106名参加
・(株)宮城県管工事会館監査役会に吉田専務理事、武田監事出席
- 11月20日(月)・建設業法令遵守講習会に千葉事務局長出席
- 11月21日(火)・東北配管工事業協同組合令和5年度合同例会及び懇親会に井上理事長、小川常務理事出席
- 11月22日(水)・令和5年度宮管連事務局長会議に井上理事長、組合常勤役員外出席
- 11月24日(金)・高等技術専門校再編整備に伴う技能検定試験に関する説明会に藤岡正行会長（(株)アトマックス）、白戸工事部長出席
- 11月28日(火)・令和5年度宮城県建設雇用改善推進大会に堀理事外出席、席上、組合員(株)ヨネヤマ設備の高橋淳也氏が第29回みやぎの建設技能グランプリ功労賞を受賞
- 12月4日(月)・(株)宮城県管工事会館役員会に井上理事長、菅原副理事長外出席
- 12月6日(水)・全管連第53回総務部会に井上理事長出席
・上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会開催
- 12月11日(月)・令和5年度後期技能検定委員等打合せ会に藤岡正行会長（(株)アトマックス）、相澤十四男会長（(株)相澤設備）、福田幸穂社長（(株)加納工業所）、白戸工事部長外出席
- 12月13日(水)・「みやぎ建設産業架け橋サロン」が宮城県白石工業高等学校で開催され、(株)いづみ衛生施設工業の石川昂由氏がコーディネーターとして出席
- 12月14日(木)・令和5年度宮城県建設雇用改善推進対策会議に井上理事長、堀理事出席
・12月度役員会開催
※報告事項
 - ①庶務報告
 - ②共同事業実績報告
 - ③上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会について
 - ④令和5年度親善ボウリング大会報告
 - ⑤令和5年度年末年始及び寒波時における修繕体制について
 - ⑥仙台市指定給水装置工事業業者の新規指定並びに排水設備工事業業者の新規承認について
 - ⑦顧問税理士の委託契約期間満了に伴う更新について
 - ⑧組合員の脱退について
 - ⑨職員の新規採用（内定）人事について
 ※その他
 - ①年末年始休業について
 - ②年末一時金の支給について
 - ③官公需共同受注事業「配水管及び給水装置修繕工事」に係る“休日（昼間）”の宅地内待機修繕履行体制一部拡充に伴う役員会社配置協力期間について
 - ④第二倉庫外構改修の完了について
 ・役員懇談会開催
- 12月15日(金)・宮城県中小企業団体中央会令和5年度第3回理事会に井上理事長出席
- 12月26日(火)・広報委員会開催
※協議事項
 - ①“みやかん”新春号の発刊について
- 12月30日(土)・年末年始休業
～1月4日(木)

組合員のうごき

○組合員代表者変更

日比谷総合設備 株式会社 東北支店 (No.103)

【令和5年6月23日付】



新 支店長 坂 口 照 彦
前 支店長 山 崎 和 人

環境設備工業 株式会社 (No.112)

【令和5年9月1日付】



新 代表取締役 高 橋 禎 彦
前 代表取締役 増 澤 一

第一工業 株式会社 東北支店 (No.24)

【令和5年10月1日付】



新 上席執行役員支店長 瀧 内 秀 一
前 執行役員支店長 堂 込 誠 一

仙台ガス水道工業 株式会社 (No.119)

【令和5年12月13日付】



新 代表取締役 外 山 佳 嗣
前 代表取締役 大 宮 健

○組合脱退

株式会社 浅野衛生設備工業所 (No.93)

【令和5年8月31日付】



わずか40mm角柱! スタイリッシュな New デザイン。
エクステリアの次世代型不凍水栓柱、選べる14色!

デザイン不凍水栓柱 *Ice Rouge* アイスルージュ

株式会社 外村製作所 仙台支店

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5-9-18 TEL 022-238-9110 FAX 022-238-9290



オプションで「花ハンドル」
の蛇口に取り替えられます

理事（役員）会報告

—9月度理事会—

1. 日 時 令和5年9月14日(木)15:00～15:50
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3階 研修室
3. 出席者 理事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・赤間理事・松岡理事・小野理事・郷古理事
大浦理事・服部理事・堀理事 計12名
事務局 千葉事務局長・須藤事務長・白戸工事部長・小島資材部長 計4名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の8月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について8月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③広報委員会報告

赤間広報委員長より、広報誌「みやかん」清秋号の掲載予定記事の内容確認と新春号への寄稿依頼先について審議した旨が報告され、一同了承した。

④2023仙台市下水道フェア出展報告

郷古上下水道委員長より、9月3日に開催された首題フェアについて、出展内容と当日の様子等が報告され、一同了承した。

⑤令和5年度地区連絡会各ブロック代表者等による全体打合せ報告

千葉事務局長より、8月23日に開催した首題打合せでの協議内容と各ブロックで決定した開催日時と場所等が報告され、一同了承した。

⑥宮城県立仙台高等技術専門校設備工事科実習生を対象とした職業講話実施報告

堀理事より、8月25日に実施した首題講話について、当日の次第、各講師、受講生から寄せられたアンケートの主な内容等が報告され、一同了承した。

⑦職員の採用について

吉田専務理事より、令和5年度内中途採用者1名について報告され、一同了承した。

※協議事項

①仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情について

吉田専務理事より、10月13日に予定している首題陳情について、当日の出席予定者、陳情の項目とその内容等の原案が図られ、一同了承した。

※その他

①第75回中小企業団体全国大会（宮城大会）への参加者動員について

井上理事長より、首題の宮城大会開催にあたり、宮城県中央会より10名程度の参加要請があったため、理事の中で都合がつく方に参加協力願いたい旨が提案され、一同了承した。

②令和5年度中間棚卸しの実施予定

小島資材部長より、首題の件について、9月20日に通常営業しながら実施する旨が説明され、一同了承した。

－10月度理事会－

- | | | |
|--------|--|------|
| 1. 日 時 | 令和5年10月12日(木)15:00～16:00 | |
| 2. 場 所 | 宮城県管工業協同組合 3階 研修室 | |
| 3. 出席者 | 理事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・赤間理事・松岡理事・小野理事・相澤理事
大浦理事・服部理事・堀理事 | 計12名 |
| | 事務局 千葉事務局長・須藤事務長・白戸工事部長・小島資材部長 | 計4名 |

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の9月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について9月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③令和5年度中間棚卸し結果報告

小川常務理事より、9月20日に実施した中間棚卸しの結果について、資材・工事の在庫状況が報告され、一同了承した。

④給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会実施報告

松岡総務・厚生委員長より、9月29日、30日と10月2日に開催した首題講習会について、受講者数や収支等が報告され、一同了承した。

⑤令和5年度配水管技能講習会（白石工業高等学校）実施報告

白戸工事部長より、10月3日と4日の2日にわたり、同校設備工業科2年生35名を対象に実施した首題講習会について、講習内容や当日の様子等が報告され、一同了承した。

⑥第29回宮管・管工事機材展示会実施報告

大浦資材副委員長より、9月15日に開催した首題展示会について、出展者数、来場者数、売上高、展示会費用の収支等が報告され、一同了承した。

⑦宮管親善ゴルフコンペ実施報告

松岡総務・厚生委員長より、9月19日に実施した首題コンペについて、参加者数、上位者の成績、費用の収支等が報告され、一同了承した。

⑧青下の杜プロジェクト「秋の間伐活動」参加報告

堀理事より、9月30日に実施された首題の間伐活動について、青年部の協力も頂き、当組合から合計13名が参加して間伐作業を行った旨が報告され、一同了承した。

⑨顧問弁護士の現契約期間満了に伴う契約更新について

須藤事務長より、当組合顧問齊藤弁護士との現委託契約期間が10月末日で満了することから、引き続き向こう2年間、従来の顧問料で契約更新したい旨が説明され、一同了承した。

※協議事項

①第二倉庫の改修について

堀理事より、第二倉庫について、基本の構造体（鉄骨）を残し、屋根、外壁、ブロック、サッシの

改修工事と外構の修繕工事を行いたいこと、予算と今後のスケジュールについて提案され、一同了承した。

※その他

①「みやぎ建設産業架け橋サロン」への講師派遣推薦依頼について

千葉事務局長より、例年宮城県土木部事業管理課から依頼されている首題サロンへの講師1名の派遣について説明があり、昨年度も承引頂いた1名にお願いすることとし、一同了承した。

②事業継続計画（BCP）策定の進捗状況について

吉田専務理事より、BCP策定の主旨と経過が説明され、次いで堀理事から内容と進捗状況等が説明され、令和6年4月の施行に向けて作業を進めることとし、一同了承した。

－11月度役員会－

1. 日 時	令和5年11月9日(木)15:00～16:30	
2. 場 所	宮城県管工業協同組合 3階 研修室	
3. 出席者	理 事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事 小川常務理事・赤間理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事 郷古理事・相澤理事・大浦理事・服部理事・堀理事	計14名
	監 事 武田監事・大泉監事	計2名
	事務局 千葉事務局長・須藤事務長・白戸工事部長・小島資材部長	計4名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の10月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について10月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③上下水道委員会報告

郷古上下水道委員長より、11月6日に開催した首題委員会において、令和5年度上半期の工事事業実績と水道フェア・下水道フェアの報告、次いで12月6日に行う予定の4者間（仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会の主な内容等について説明され、一同了承した。

④令和5年度技能検定実技試験の実施について

⑤令和5年度技能向上訓練（実技・学科部門講習会）の実施について

白戸工事部長より、令和6年1月6日(土)と2月2日(金)・6日(火)に予定されている令和5年度技能検定の建築配管実技試験実施計画と、その受検準備講習会を兼ねた技能向上訓練の実施予定〔学科講習1・2級合同／令和6年1月6日(土)・7日(日)、実技講習／1級＝令和6年1月13日(土)・2級＝1月14日(日)〕と収支予算等が説明され、一同了承した。

⑥令和5年度仙台市技能功労者表彰受賞者報告

千葉事務局長より、首題の受賞者について次のとおり報告され、一同了承した。

令和5年度仙台市技能功労者表彰受賞者

安曇直人氏（ウォーターワークス仙台株）表彰式：令和5年11月13日

⑦第2・四半期決算報告

⑧第2・四半期監査報告

須藤事務長より、第2・四半期（令和5年4月1日～令和5年9月20日）の決算内容が報告された後、武田監事より、監査の結果について適正に会計処理されている旨が報告され、一同了承した。

⑨地区連絡会ブロック会議報告

千葉事務局長より、3回に分けて開催した今年度のブロック会議について、各出席者、費用、会議内容等が報告され、会議記録を後日組合員へ送付して内容を周知することとし、一同了承した。

⑩令和6年度「仙台市水道修繕受付センター業務委託」に係る“休日（昼間）”の現地調査業務履行体制の一部拡充について

吉田専務理事より、首題業務委託に係る休日昼間の現地調査業務について、令和6年度から宮管の直営班を含めた7社体制に拡充すること、組合員へ支払う業務委託費の積算を一部見直すこと等が説明され、一同了承した。

⑪準組合員の脱退について

須藤事務長より、準組合員1社から今年度末での任意脱退の予告書が提出された旨が報告され、一同了承した。

※協議事項

①仙台市営バスへの広告掲出延長について

須藤事務長より、令和6年1月14日で1年間の現契約が満了する市営バスへの広告掲出について、向こう1年間従前同様の5台で延長したい旨が提案され、一同了承した。

②令和6年新年祝賀会について

千葉事務局長より、令和6年1月15日（月）に江陽グランドホテルにおいて予定している新年祝賀会の開催案について提案されるとともに、来賓の案内先や次第等が説明され、一同了承した。

③令和5年度官公需共同受注事業「配水管及び給水装置修繕工事」に係る“休日（昼間）”の宅地内待機修繕履行体制の一部拡充について

吉田専務理事より、首題の履行体制の現状について説明され、大型連休期間等における待機要請班数の関係から業務従事頻度が非常に高くなっているため、現役員の会社に当該特定期間中のローテーションに加わっていただきたい旨が提案され、ついては今年度の年末年始から協力願ひ、輪番日は後日案内することで一同了承した。

－12月度役員会－

- | | |
|--------|---|
| 1. 日 時 | 令和5年12月14日（木）16：00～16：40 |
| 2. 場 所 | 江陽グランドホテル 3階 羽衣の間 |
| 3. 出席者 | 理 事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・赤間理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事・郷古理事
相澤理事・大浦理事・服部理事・堀理事 計14名
監 事 武田監事・大泉監事 計2名
事務局 千葉事務局長・須藤事務長・白戸工事部長・小島資材部長 計4名 |

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の11月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について11月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③上下水道に関する4者間（仙台市水道局・同建設局・（公財）仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会について

郷古上下水道委員長より、12月6日に開催した首題意見交換会について、当日の出席者、協議内容、当局から示された回答等が報告され、一同了承した。

④令和5年度親善ボウリング大会報告

松岡総務・厚生委員長より、11月15日に開催した首題大会の参加者数や費用等について報告され、一同了承した。

⑤令和5年度年末年始及び寒波時における修繕体制について

白戸工事部長より、令和5年12月29日～令和6年1月3日迄の年末年始期間における待機修繕配置体制と、2月末迄の寒波時における修繕対応配備体制について説明され、一同了承した。

⑥仙台市指定給水装置工事業者の新規指定並びに排水設備工事業者の新規承認について

白戸工事部長より、仙台市指定給水装置工事業者として令和5年8月から11月末までの間に4社が新たに指定を受けた一方、5社が指定廃止となったほか、27社が指定効力を失効したため、11月末現在の指定業者数が529社になったこと、また、仙台市公認排水設備工事業者は期間中の増減がなく、同日現在の公認業者数が376社になっていることが報告され、一同了承した。

⑦顧問税理士の委託契約期間満了に伴う更新について

須藤事務長より、委託期間が満了する芳賀義春顧問税理士との契約について、従前同様の内容で向こう2年間の契約更新をしたい旨が提案され、一同了承した。

⑧組合員の脱退について

須藤事務長より、組合員1社の代理人である司法書士法人より、令和5年8月31日付の同社解散が通知されたこと、については8月31日付法定脱退として処理すること等が説明され、一同了承した。

⑨職員の新規採用（内定）人事について

吉田専務理事より、来春4月採用の職員採用試験を実施した結果、大卒見込者3名と既卒者1名、高等技術専門校修了見込者1名の5名を内定していることが報告され、一同了承した。

※その他

①年末年始休業について

吉田専務理事より、今年度の年末年始休業について、令和5年12月29日（金）は午前中営業とし、12月30日（土）から令和6年1月4日（木）迄休業することが説明され、一同了承した。

②年末一時金の支給について

吉田専務理事より、今春の労使協定に基づき支給する年末一時金について報告され、一同了承した。

③官公需共同受注事業「配水管及び給水装置修繕工事」に係る“休日（昼間）”の宅地内待機修繕履行体制一部拡充に伴う役員会社配置協力期間について

吉田専務理事より、首題にかかる今年度年末年始の役員会社による宅地内待機修繕輪番配置体制について報告され、次いで令和6年度以降の役員会社による配置応援協力期間について説明され、一同了承した。

④第二倉庫外構改修の完了について

堀理事より、首題工事の内、建物に先行して年内に施工するとしていた外構（構内舗装・出入口門扉・看板）の改修が完了したことが報告され、一同了承した。



自然と健康

(有)勇扇工業 代表取締役

宮城県管工業協同組合

上下水道委員 後藤 和弘

去年、健康診断で健康サポート（保健指導）を受けることになりました。年齢を重ねるごとに体を動かす機会が少なくなり、立っている時間が長いとすぐに座りたくなります。体型は子供の頃から大きな変化は無く、若干ですが、腹部が出てきているのは感じていました。毎年、健康診断を受診しておりましたが、健康サポート（保健指導）を受けている方を他人事のように「食事を少しでも減らせばいいのではないかな」と思っておりました。

対策として、食事は昼食や夜食に食べていたカップラーメンを控えてサラダやチーズ、サンドウィッチに変更しました。

運動では、時間が取れない平日は難しいので、休日にできるものはないかと考えていたところ、息子から「溪流釣りがしたい」と言われていたのを思い出しました。溪流釣りは二十代の頃はよく行っておりましたが、結婚を機に年間釣行が2回程度になっており、川を歩いてすぐに膝が痛み、石に躓いたり筋力低下を感じました。今年は熊の被害が多く、土にしっかりと残った熊の足跡がありましたので、すぐに息子に伝え、釣りを止めて帰宅しました。

今回は足跡でしたが、二十年位前に一人で釣りをしていたところ、護岸ブロック上に黒い物体が1つ有り、石か木の根だと思い、気にせず釣りを続けていました。ところが、もう一度見ると黒い物体が2つに増えているではありませんか。おかしいと思い、よく見ると黒い物体が2つとも動いています。もしかして熊？子熊だ！私に気づかずに、木の実か葉を食べていました。子熊は可愛いな、でも危ないなと思った途端、突然、草むらから親熊が物凄い勢いで出てきました。「あっ、ヤバイ」と思ったものの体が全く動かず、親子熊がいる護岸ブロックの高さは約1.5m、距離20m弱、水深40cm程度。障害物は何もなく、追いかければ逃げ切ることはできません。熊に出会ったら振り向いて逃げてはいけないことは知ってはいたが、その時は思い出すこともできず、ただ体が数秒は動かなかったと思います。どの位の時間が経ってからかは覚えてはいませんが、後退りをして離れていくと、親子熊は草むらの中に消えていきました。

「蛇に睨まれた蛙」の状態だったと後で思いましたが、あまりの恐怖に考えることも体を動かすこともできなくなるという体験（避けたい）をしました。それからは、一人で溪流釣りに行かないようにしております。

アカギ式 配管支持金具



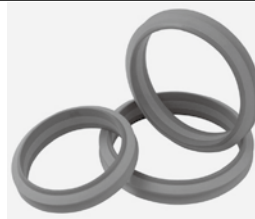
配管支持金具の

株式会社

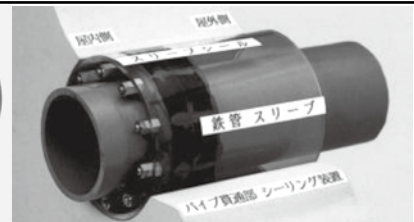
アカギ



ハヤツリ



止水A-リング



スリーブシール

仙台営業所 / 〒984-0002 仙台市若林区卸町東4-1-19 TEL 022-287-7311
 本社 / 〒104-8251 東京都中央区入船2-1-1 TEL 03-3552-7331
 支店・営業所 / 全国主要都市

編集歳時記

(2024年新春号No.509)

天は時に無慈悲と思える試練を与える。

令和6年1月1日、元旦の夕方に能登半島を震源として石川、富山、新潟などの各都市を襲った巨大地震。

M7.6、最大震度7の激しい揺れ、津波、火災、土砂崩れという複合災害は東日本大震災を想起させる。

1月3日午前6時、仙台市水道局職員6名と当組合及び組合員中央管工業(株)並びに渡辺建設工業(株)の精鋭11名が被災地新潟市へ応急給水と配水管の復旧応援に緊急出動した。

命の水が被災者のもとへ一刻も早く届くことを願うばかりである。

死者・負傷者・安否不明者の報告数が連日増え続け、被害の全容は判明していないが、亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

折しも当組合は現在、令和5年度通常総会で承認された地震等災害時における事業継続計画（宮管版BCP）の策定作業を進めている。

発災時の初動として何より優先すべきは安否確認。

昨年10月に開催した地区連絡会各ブロック会議での説明のとおり、今後は今年4月からの運用開始に向けた組合員安否確認システムへ登録させていただくためのアプリを組合員各社代表者のモバイル（スマートフォン）へインストールする実作業に入る。

詳細は組合担当者から別途ご連絡の上、あらためてお願いをさせていただきますが、その節には組合員皆様のご理解と特段のご協力をお願い致します。

本年も宮城県管工業協同組合広報誌『みやかん』は、組合の情報機関誌として誌面の充実に努めて参りますので、ご高覧のほど宜しくお願い申し上げます。

令和6年1月5日

吉田 秀之

編集・発行

本年も誌面の充実に努めて参りますので、ご寄稿とご愛読下さいますよう心よりお願い申し上げます。

宮城県管工業協同組合 第46期 広報委員会

委員長	赤間 勇一郎	(株) 赤間 総業	代表取締役
副委員長	小野 修司	(全) 栄興業 (株)	代表取締役
委員	佐藤 健	(佐) 静建設 (株)	代表取締役
委員	金来和 広	(株) ユーワ技研	代表取締役
委員	坪田 映二	(坪) 田工業 (株)	代表取締役
委員	大友 進	(東) 水工業 (株)	専務取締役

専務理事	吉田 秀之
理事	堀 政信